

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス はびねすジョブ若槻		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 1日		2026年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	62	(回答者数) 43
○従業者評価実施期間	2026年 2月 1日		2026年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個々の特性や発達段階に合わせた個別支援計画を基に、SSTや集団活動を取り入れた療育支援を行っている。	活動内容が固定化しないよう、児童の興味や発達段階に合わせて活動プログラムを工夫している。	発達障害に関する研修や事例検討を行い、職員の専門性向上に努めていく。
2	職員間で日々のミーティングや情報共有を行い、児童の様子や支援方法をチームで確認しながら支援している。	児童が安心して過ごせるよう環境設定を整え、ルールやスケジュールを分かりやすく提示している。	学校や相談支援事業所など関係機関との連携をさらに強化し、情報共有の機会を増やしていく。
3	送迎時や連絡帳などを通して保護者と密に情報共有を行い、家庭と連携した支援を心がけている。	成功体験を積み重ねられるよう、個々の得意なことや強みに着目した支援を意識している。	児童の自己決定や主体性を育てる活動を増やし、社会性の向上につながる支援を充実させていく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	児童の特性が多様であり、個別支援に十分な時間を確保することが難しい場面がある。	利用児童のニーズが多様化しており、より専門的な支援が求められているため。	定期的な職員研修やケース検討を実施し、支援の質向上を図る。
2	関係機関や地域との連携をさらに深めていく余地がある。	日々の支援業務が多く、研修や振り返りの時間確保が難しいことがあるため。	関係機関との情報共有の機会を増やし、連携体制を強化する。
3	活動スペースや環境面について、状況に応じた工夫が必要な場面がある。	学校や地域機関との情報共有の機会が限られているため。	環境整備や活動内容の見直しを行い、児童が安心して過ごせる環境づくりを進める。